

報道関係者各位

2025 年 8 月 19 日

株式会社セキュア

セキュアの遠隔一元管理システム、日本通運九州全域に導入拡大 現場の DX と安全性を両立ー物流業界の課題解決を支える仕組みづくりへ

「AI（画像解析）×セキュリティ」で企業の課題解決のためのビジネスソリューションを提供する株式会社セキュア（本社：東京都新宿区 代表取締役社長：谷口 辰成、証券コード：4264、以下「セキュア」）は、総合物流企業である日本通運株式会社（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：竹添進二郎、以下「日本通運」）の九州全域において、セキュアが提供する「遠隔一元管理システム」展開を拡大することをお知らせします。

今回の展開拡大により、2025 年内に九州エリアの物流拠点の約 7 割で本システムの導入が完了し、来年以降全拠点導入を目指して展開予定です。複数拠点の監視カメラ映像を一元的に遠隔管理することで、リアルタイムかつ高度な現場の可視化を実現し、業務の効率化とセキュリティの強化を両立させます。



本システムの導入は、同社が推進する物流倉庫の DX（デジタルトランスフォーメーション）および高度なセキュリティ体制の構築に基づくものであり、セキュアが培ってきた技術力がその推進を支援しています。

■導入の背景と課題

- ・遠隔視聴により、各倉庫の状況を本部でも一元的に把握したい
- ・鮮明な映像で現場の状況を正確に確認したい
- ・死角をなくして安全・品質・セキュリティを強化、真因分析に活用したい
- ・従業員の安全と倉庫のセキュリティを同時に強化したい
- ・トラブル発生時に映像で記録・検証して、原因・責任を明確化したい

■導入により実現できること

- ・各倉庫の状況を遠隔地からリアルタイムで可視化し、物量やレイアウトの即時把握が可能に
- ・通常の監視カメラと全方位カメラの組み合わせにより、死角のないモニタリングを実現
- ・トラブル発生時の記録確認により、責任の所在を明確化し迅速で的確な対応が可能
- ・従業員の動線を把握・最適化することで、作業効率と安全性を同時に向上

■今後の展望

セキュアは今後も、日本通運とともに物流業界の現場課題に向き合い、安全強化・効率化の両立を実現する付加価値の高いソリューションを提供してまいります。AI を活用した異常検知・通知システムの導入促進も進め、「人・モノ・情報」を守る包括的なセキュリティソリューションの提供を通じて、物流の社会インフラとしての進化に貢献してまいります。

■セキュアについて

会社名：株式会社セキュア

所在地：〒163-0220 東京都新宿区西新宿二丁目6番1号 新宿住友ビル20階

代表者：代表取締役社長 谷口 辰成

設立：2002年10月16日

URL：<https://secureinc.co.jp/>

「AI×セキュリティで新しい価値を創る」をビジョンに掲げ、入退室管理システムや監視カメラシステムに、AI（画像認識）技術を掛け合わせた付加価値の高いセキュリティソリューションを提供しています。顔認証による入退室管理システムでは、数量ベースにおいて2020年以降連続してマーケットシェア No.1 を獲得。中小から大手企業まで過去13,000社以上の導入実績があり、性能・コスト・安定性を考慮したシステムの設計や設置環境までの最適化をサポート。あらゆる空間の安心・安全と最適なソリューションをご提案します。

<報道関係者からのお問合せ先>

株式会社セキュア 広報担当：栢菅（かやすが）・谷村（やむら）

お問合せフォーム：<https://ubique.secureinc.co.jp/l/1006202/2023-01-21/mc2/?>